

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 井手 久武	電話番号	0852-22-5909
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	学校施設バリアフリー化事業		
目的	(1) 対象	県立学校の児童・生徒	
	(2) 意図	障がい等があっても支障なく学校生活を過ごせるようにする。	
事業概要	障がいをもつ児童・生徒が県立学校において支障なく学校生活を過ごせるようにするため、自立状況に応じてエレベーター、スロープ、手すり、多機能トイレ等を整備し、学校施設のバリアフリー化を推進する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 多機能トイレ等の整備率	目標値		79.60	81.60	83.70	85.70	%
		取組目標値						
	式・定義 整備校舎数/県立学校校舎総数	実績値		77.6				
		達成率		-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率		-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	46,687	20,187
うち一般財源 (千円)	46,687	20,187

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 全ての県立高校においてバリアフリー化が進むことが望ましいが、児童・生徒の在籍状況や進学希望状況、学校施設状況を勘案し、順次整備を進めている。
- エレベーターについては、平成27年度末時点で県立学校47校(50校舎)中、31台のエレベーター設置済み。
- 多機能トイレ等は在籍状況等に加え、改修工事等に併せて順次整備を行い、平成27年度末時点で50校舎中38校舎で整備済み。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

- H27年度は下記の整備を実施。
- エレベーター更新 (松江養護学校)
 - スロープ設置 (平田高校)
 - 階段昇降車購入 (松江商業高校)
 - 多目的トイレ整備 (三刀屋高校掛合分校、石見養護学校、松江清心養護学校)
 - 寄宿舎浴室整備 (盲学校・石見養護学校)
 - 実習教室冷房設置 (盲学校・松江ろう学校)
 - 手洗い改修 (松江緑が丘養護学校)
 - 調理室改修 (松江緑が丘養護学校)
 - クールダウン室等設置 (隠岐養護学校)

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 児童・生徒の在籍状況や障がいによる支障内容の状況、設置済みのエレベーター等の施設・設備の老朽化による更新等のバリアフリー化のニーズは継続的にある。

②困っている状況が発生している「原因」

- 建築年が古いためバリアフリー対応されていない学校施設がある
- 児童・生徒の障がいの重度化・多様化

③原因を解消するための「課題」

- 整備箇所や内容の優先順位をつけ、学校施設のバリアフリー化整備を行う必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 児童・生徒が支障なく学校生活を過ごせるよう、児童・生徒の在籍状況や学校施設状況等に応じて順次必要な整備を進める。
- 多機能トイレ等の整備については、スロープや手すり等の設置による校舎内の円滑化と併せ総合的に整備を計画する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)